

にぎわう会場の“いま”を世界に発信 雪まつり会場に無線特別局を開設 国内外約1100局と交信

2025年2月11日（火）

昨年好評を博した、さっぽろ雪まつりの「アマチュア無線特別局」が今年も大通西8丁目の「雪のHTB広場」のプレハブ内に開設されました。日本アマチュア無線連盟石狩後志支部長でもある経理財務部の岡田壮弘副部長の呼びかけで行われ、森唯菜アナウンサーと総合制作部の瀬戸川雄一部員、技術部の石川楓将部員も加わり、北海道の冬の一大イベントの様子をリアルタイムで世界に発信しました。また、無線免許を持たない人でも交信できる体験も行われ、無線愛好家だけでなく大勢の親子連れらも楽しんでいました。特別局からの発信は、雪まつり開催期間中の2月4日から11日まで行われ、交信したのは国内外の約1100局にのびりました。

岡田副部長は「この体験を通じて伝える面白さや科学に興味を持ってもらえれば」と話しています。

